

備前市事務事業評価表

事務事業名	観光推進事業		コード	04-03-01-01
			担当課・係	商工観光課 観光係
事業実施期間	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	担当者	岩崎和久
	中項目(基本施策)	個性あふれる観光のまちづくり	電話	64-1832(274)
総合計画 事業(政策)体系	小項目(施策)	観光		

事業について	
目的 (何のために)	観光案内サービスの向上、観光PR活動の推進により、市への来訪者数を増加させ、市の活性化を図る。また、観光動態調査については、観光客の動向を調査することにより諸施策への指針として利用するため。
対象 (誰・何を対象に)	観光事業者、観光客
内容	観光動態調査、観光宣伝事業(宣伝広告、観光物産展など)、パンフレット作成配布、観光写真掲出事業、観光看板設置等

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
観光客数	759,415 人	787,221 人	
市内観光施設			
商工観光課調べ			
観光客動態調査	754,000 人	未発表 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,288	間接補助金等	176	直接事業費	8,256	間接補助金等	176	直接事業費		間接補助金等	
	人件費	7,768	受益者負担		人件費	5,814	受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債			市債				市債				
	合計	10,056	一般財源等	9,880	合計	14,070	一般財源等	13,894	合計	0	一般財源等	0

結果指標	必要人員	0.98 人	0.75 人	
	結果指標名	観光客数	観光客数	
	結果指標量	759,415	787,221	
	単位	人	人	
結果指標	対前年比	—	103.66%	0.00%
	活動にかかるコスト	10,056,000 円	14,070,000 円	
	単位当たりコスト	13 円	18 円	
	結果指標名			
結果指標	結果指標量			
	単位			
	対前年比	—		
	活動にかかるコスト			
結果指標	単位当たりコスト			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	観光客数の増加		
成果指標名	観光客数	式又は説明	市調査及び観光動態調査による観光客数
	17年度	18年度	
成果指標量	759,415	787,221	
対前年比	—	103.66%	0.00%
到達目標値	100万人	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> A
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 90万人	
	成果指標量 100万人	

総合評価	観光産業は市にとって重要な要素を占めており、その発展には今後とも力を入れていく必要がある。	評価区分<A~E> C
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	外国人向けのPRを検討していく	早期	観光客の増加、観光まちづくりとしての醸成
効率性	広域連携やマスメディアの活用	早期	効率的に効果的なPRを行うことができる